

街の元気ステーションの提案

～元町2丁目児童相談所跡地活用計画～

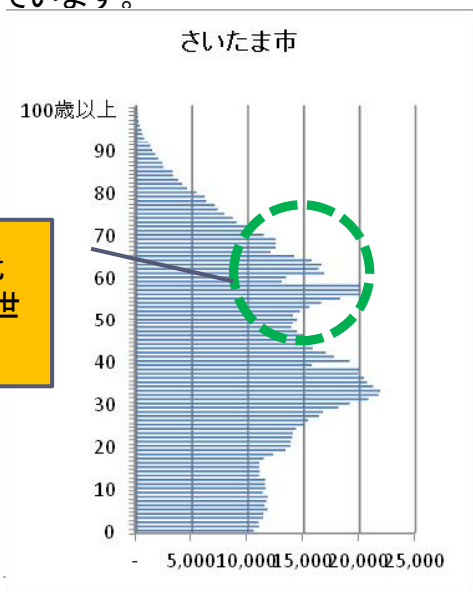
2012年1月 NPO法人 浦和スポーツクラブ

提案の背景

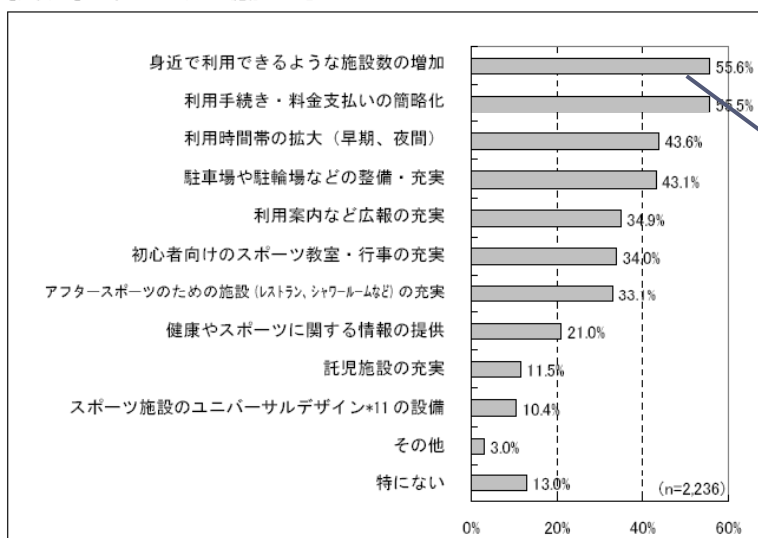
高齢者の健康づくり

- ▶ さいたま市は、市民の平均年齢が比較的若い地域ですが、団塊の世代が多く、今後、急速な高齢化が予想されています。
- ▶ 市内には古くからの住宅街が多く、これらの地区には多くの高齢者が暮らしており健康づくりは緊急の課題です。
- ▶ 公園などは、高齢者の健康づくりに効果を発揮すると期待できますが、実際には公園があるだけで健康づくり等が進むものではありません。
- ▶ より多くの中高齢者の健康づくりを進めるためには、各種の運動プログラムの指導や、コミュニケーションを高めるソフト施策の導入、およびこれらを運営する組織が必要です。
- ▶ また、天候に左右されず交流や運動が楽しめる場所も必要です。
- ▶ このような活動は、公共的な施設で展開することが期待されますが、近隣の南箇公民館や駒場体育館は既存活動で満杯です。
- ▶ 高齢者にとっては産業道路の横断に危険が伴うことや、体育室が2Fにある公民館も少なくないことから足の弱い高齢者には利用しにくいことなども指摘されています。市民意識調査の結果からも、身近で利用できる施設の増加を望む意見が、最も多くなっています。

今後、この世代が一挙に高齢世代に突入する



【図表 22】 市内のスポーツ施設に望むこと



身近な施設の増加を望む意見が最も多い

(資料：スポーツに関する市民意識調査<平成 21 年>)

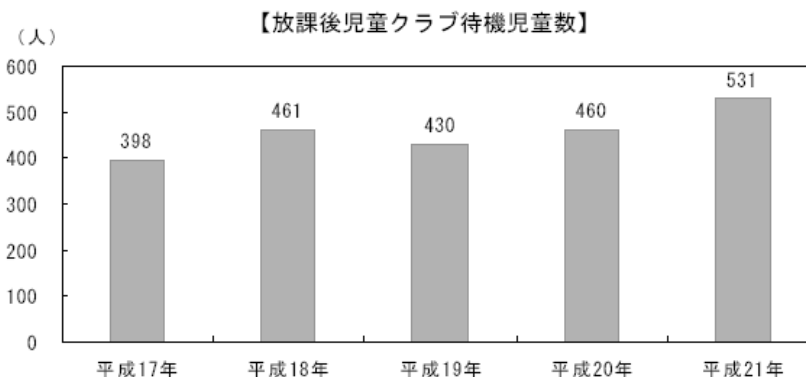
提案の背景 子どもの体力や遊び場

- ▶ 新体力テストの結果では、さいたま市の小学生は、多くの種目で全国の平均値を下回っています。この原因として、幼少期から、安心、安全に外遊びをしたり、スポーツをする機会が不足していることが推察されます。
- ▶ 共働き世帯も少なくない中、放課後児童クラブの待機児童数が増加しています。
- ▶ また、「雨の日に遊べる場所がない」「思い切り遊ぶための十分な広さがない」など、子どもの遊び場、居場所づくりには課題が残されていることも伺えます。

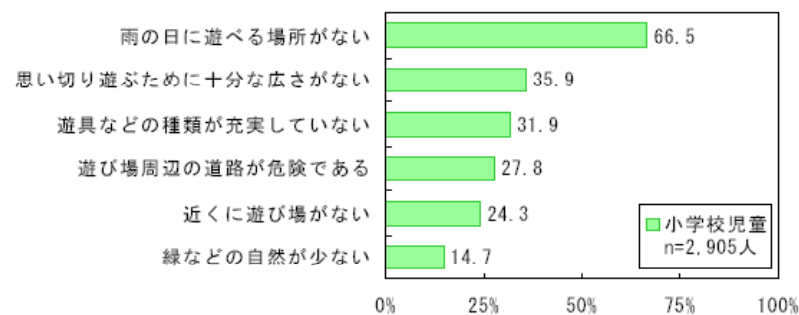
○男女種目別・学年別比較

性別	種目	小1	小2	小3	小4	小5	小6
男 子	握力	×	×	×	×	×	×
	上体起こし	—	—	—	—	—	—
	長座体前屈	×	—	○	—	—	—
	反復横とび	○	—	×	×	—	×
	持久走	/	/	/	/	/	/
	20mシャトルラン+6	—	×	—	×	×	—
女 子	50m走	—	×	—	×	—	—
	立ち幅とび	○	—	—	—	—	—
	ボール投げ	×	×	×	×	×	×
	握力	×	×	×	×	×	×
	上体起こし	×	—	—	—	○	—
	長座体前屈	×	○	○	○	—	—
男 子	反復横とび	×	×	×	×	—	—
	持久走	/	/	/	/	/	/
	20mシャトルラン	○	×	×	×	—	—
	50m走	×	×	—	×	—	○
	立ち幅とび	—	—	○	—	—	—
	ボール投げ	×	×	×	×	×	×

○：全国平均を上回る
 ×：全国平均を下回る
 —：全国平均と統計的に差が少ない

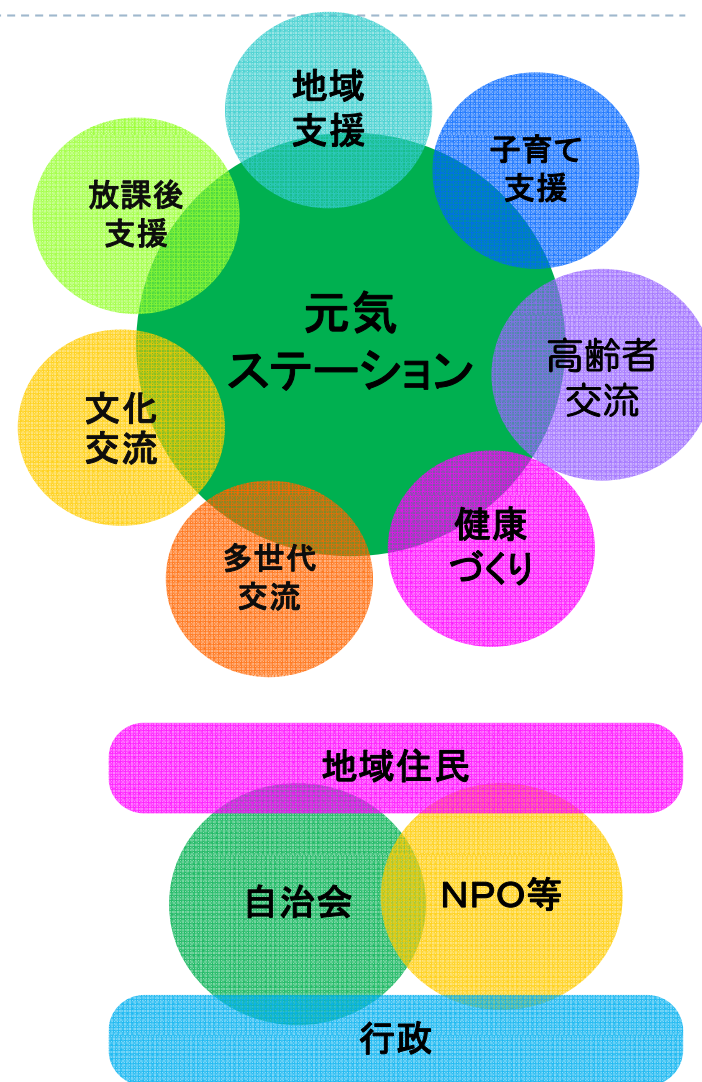


【近所の子どもの遊び場について日ごろ感じていること（上位6項目）（小学校児童）】
 （複数回答）



提案 街の元気ステーション

- ▶ 子どもから中高齢者まで健康づくりを推進
 - ▶ 公園(屋外)でも室内でも集える、美容と健康、体づくり、多世代交流、子育て支援など、市民の元気づくり全般の推進拠点
 - ▶ 介護予防や高齢者サロン、子育てサロンなど、既存の公的セクションだけでは手がまわらない市民ニーズをカバーしていく
- ▶ 多分野連携による新たな公共の展開
 - ▶ 行政が基盤整備をし、自治会やボランティア、NPOが連携・協働して地域住民の元気づくりを支える、新たな公共の展開モデルに
 - ▶ 多分野の取り組みの共助による、ソーシャルビジネスの自立的な運営モデルに



候補地／元町2丁目・児童相談所跡地の現状

- ▶ 元町2丁目の県南児童相談所周辺は、マンション、戸建住宅などが密集する地域であり、公園・緑地などの公共施設が少ない地域であり、児童相談所の一部は、地域の子も達が児童広場として利用していました。
- ▶ 周辺自治会からは、公園や緑地など、地域の児童、高齢者が利用でき、災害時には避難場所等としても活用する希望が出されています。
- ▶ 現在、市では、建物を撤去し公園化する方向で検討が進められていると伺っています。
- ▶ 前述のとおり元町2丁目および隣接する領家1丁目周辺は公園が無く、その必要性は高いと思われます。
- ▶ 一方で、市の財政事情等を勘案した時、新たな公園の整備・維持管理への十分な予算措置がなされるか心配もあります。特に、近年公園の維持管理は、地元との協働を進める方向にありますが、地元自治会組織の高齢化等を勘案した時、広い公園の管理には不安が残ります。
- ▶ また、建物をすべて撤去してしまうことで、気象条件に影響を受けない乳幼児や高齢者の居場所や健康づくりの場づくりは困難となります。
- ▶ 建物を存続させ活用する案もありましたが、耐震上の課題や、維持管理を地域で行うことが困難と判断されました。

建物は耐震処理がされていないこと、存続させた後の維持管理の課題から撤去される予定



都市計画公園として整備されると、建蔽率は5%が上限となり、建物の用途も制限を受ける

天王川緑道・元気ステーション整備イメージ案

街の元気館

- ・子育てサロン
- ・高齢者サロン
- ・健康づくりスタジオ
- ・交流スペース
- ・会議室
- ・街の図書館 等



子育てサロン



放課後子ども教室



街の図書館



地域の会合



ふれあいサロン



介護予防運動



健康相談



美容と健康

スポーツゾーン
駐車場を活用しフットサルやテニス、バスケットボールなどに利用可能なスペースに



芝生広場公園

- ・転んでも大丈夫！
- ・はだして遊べ、雨上がりでもぬかるまず、埃も立たない、環境にも優しい芝生広場のある公園



転んでも怪我が少ない芝生広場は子どもの健やかな成長を支援

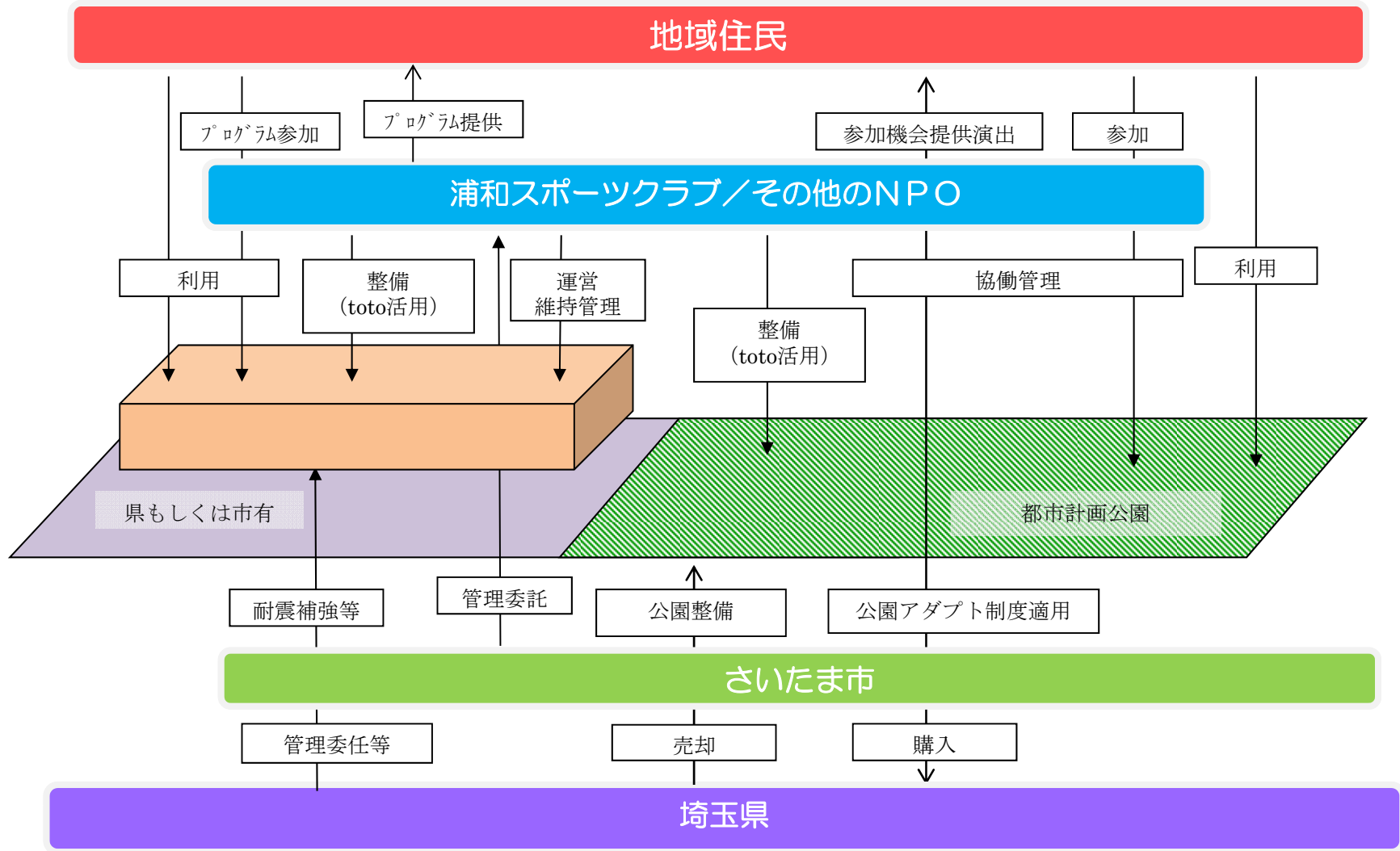


足腰に優しい芝生は軽スポーツにも適している



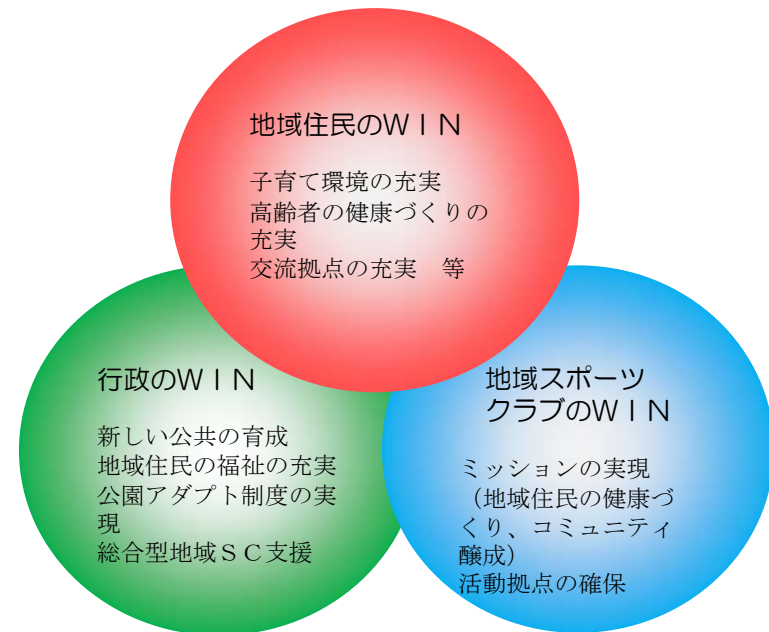
芝生や公園の草木の管理は、市民参加で、絆づくりにも効果を発揮

事業スキームのイメージ (案)



天王川緑道・元気ステーション提案概要

- ▶ **既存建物の活用**
 - ▶ 既存建物以南を都市計画公園として整備し、建物部分は存続させ「街の元気ステーション」として、地域住民の健康づくり・体力づくりプログラムに利用します。
 - ▶ 多数の部屋については、地域の各種組織・団体が連携し、子育て支援の施設や、高齢者サロンとして運用を図ります。
 - ▶ 自治会をはじめとした地域活動組織の会合や、事務所機能としても使える施設として効率的に運用します。
- ▶ **公園整備**
 - ▶ 既存建物以外の部分については、都市計画公園に用途変更を行い、芝生広場のある公園として整備します。
 - ▶ 一部敷地を活用しバスケットボールやテニス、フットサル等が可能な舗装整備をし、駐車場としても利用できるようにします。
- ▶ **施設改修・整備**
 - ▶ 既存建物の取り壊し費用をかけずに、耐震改修を行います。
 - ▶ 元気ステーションとしての施設整備には、toto(スポーツ振興くじ)助成も活用できます(事務所やスタジオ、芝生広場、スポーツ広場など)。
- ▶ **維持管理・運営**
 - ▶ 地域スポーツクラブ(浦和スポーツクラブ)を管理団体として、地元自治会等とも相談しながら運営にあたります。
 - ▶ 健康プログラム等は受益者負担を原則として実施し、これらの参加費用を施設の運営費に充当します(現在、浦和スポーツクラブでは、毎月30万弱の家賃等を支払っており、この費用も運営費用に充当できるものと考えます)。
 - ▶ 公園を含めた施設全体の維持管理にあたり、地域のボランティアとの協働を進めます。



補足 提案団体の説明

▶ 組織の概要

- ▶ 浦和スポーツクラブは、1991年に発足した地域スポーツクラブです
- ▶ 2006年から領家4丁目(領家郵便局斜め前)に、事務所とスタジオを開設しています。
- ▶ 2004年にNPOとしての認証を受け、理事は無償で運営にあたっています(有給の職員3名を雇用しています)。

▶ 互助・共助活動

- ▶ 会員の会費で運営している、互助組織です。
- ▶ 現在、会員は約1,300名です。5歳～80歳を超える地域の方々が、サッカー、テニス、各種のフィットネスプログラムなどに参加し、スポーツを楽しんだり、美容と健康づくりに気持ちよく体を動かされています。
- ▶ 主な活動場所は、駒場サッカー場(補助競技場)、駒場体育館、浦和高校、本太小学校、北浦和小学校、中尾小学校、三室小学校などです。
- ▶ 毎月、1世帯につき100円を会費に上乘せし、東北の地域スポーツクラブの子ども達の活動への支援金としています。

▶ 公益的な活動

- ▶ 北浦和駅西口の常盤9丁目では、埼玉工業さんからのビルの空き室提供を受け、放課後の子ども達の遊び場提供を無償で行っています。(2006年～ ふらっと広場の名称で実施)
- ▶ 毎週土曜日の夜に、県立浦和高校のグラウンドと体育館をお借りして、地域の方がどなたでも参加できるスポーツの場“星空スポーツ広場”を運営しています。
- ▶ 2011年度には、厚生労働省の「実践的な予防活動支援事業」の委託団体として選定され、「シニア向けの健康運動教室」を地域の中高齢者を対象に提供しています。
- ▶ 同じく2011年、文部科学省の「スポーツコミュニティ形成促進事業」の委託団体として選定され、市内10小学校への体育活動コーディネーターの派遣、市内中学校・高校部活へのトップアスリート派遣などを行っています。
- ▶ 地域包括支援センター「スマイルハウス浦和」に協力し、南筒公民館、大東公民館で実施している「元気アップ教室」に講師を派遣しています。